

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区沼垂西3丁目10-14
電話 (243) 0141
17年 9月 4日

第63回 日本母親大会に参加して

女池支部 和合通子

今年も岩手県の盛岡市で開催されました。

1日目は分科会で映画「標的の島」観賞と運動交流の所に行こうと思っていきましたが、満席で入れませんでした。他の会場に移動するのも大変なので、同じ会館の啄木、賢治と憲法を語る”テーマの会場に行きました。第一部は小森陽一さんのお話でした。1部と2部の間に女子中学生のコーラスがありました。さわやかで美しく澄んだ声に感動しました。第2部は対談で、石川啄木記念館の館長と宮沢賢治記念館副館長と進行役の詩人の森三紗さんで行われました。宮沢賢治の詩はほとんどが亡くなつてから出てきたと聞いてびっくりしました。

2日目は全体会で、オープニングは県立花巻高校鹿踊部による春日流鹿踊でした。伝統を若い人達が受け継いでいることは素晴らしいなと思いました。開会宣言の後議長や主催者、現地歓迎挨拶があり、来賓挨拶には岩手県知事と盛岡市長がそれぞれ挨拶され、県知事と市長が2人そろって出席するのは母親大会が始まって以来初めての事だそうです。1日目の分科会の事が岩手日報に大きく載って県民挙げて母親大会開催を歓迎してくれていると思いました。記念講演は「写真で伝える世界、東北の”今”」フォトジャーナリストの安田菜津紀さんのお話でした。カンボジアは内戦が終わっていてもまだ対戦車地雷が400万個も残っていて、1年間で除去できるのが平均して4万個くらいで全部除去するのに100年くらいかかる事になるそうです。戦争が終わっても現地の人達にとっては終わっていないと聞かされ本当にそうだなと思いました。また2011年の東北大地震で被害にあつて漁に出られないと思つていた人が孫に「じいちゃん、また、あの魚が食べたい」と言われて漁に出る気持ちになつたそうです。

シリアの人たちはとても暖かく全力でもてなすそうです。シリアの人が日本人と握手をするのは日本が広島、長崎の原爆にあい、戦争に負けてもそれを乗り越え誰も

日程

- 9月 6日・・・商工フェア出店者会議
- 9月 8日・・・全商連キャラバン・新潟駅前
- 〃・・・民商の魅力語る交流会
- 9月11日・・・駅前夜オリ申込み締切

傷つけず平和を守っていることを知っているからだと言われたそうです。安田さんがフォトジャーナリストの仕事に疑問を持ったとき、役割分担だよと言われあなたは何度も足を運んで今の現状を伝えることが出来ると言われたそうです。戦争や天災で被害にあつた人達は無関心が一番悲しいと。あつという間の1時間でした。オリンピックに人がとられて復興が進まない現状を聞くとき悲しくなります。シリアの人たちの言葉を聞くと恥ずかしくなります。日本の政府は何をやっているのかと腹立たしくなります。

その後昼食休憩があり、午後の部は文化行事のさんさ踊りから始まりました。初めて見ましたが、太鼓をたたきながら踊る人もいてきびきびしていかつこよかつたです。きたがわてつさんの歌もありました。来年は高知県で行われるそうです。母親大会に行くと元気が出ます。まだ行つた事の無い人にぜひ行っていただきたいと思ひます。

建設業社会保険加入問題で交流会 改善面や新たな締め付けも

建設業界で、社会保険に加入しないと現場に入れない”との動きが依然起きていることから二六日交流会を行いました。

実態は「民商が働きかけたからかな。最近社会保険入れといわれなくなった」(バスユニット組立)、「加入して2千円アップだがそれでは合わない」(解体)、「上の会社の社会保険に従業員と一緒に加入させて仕事をしたい」(解体)、「大きな現場は入れなくなった。昔上野会社の労災隠しで、責任を取らされた。上の会社のヘルメットで仕事をする場合もある」(解体)などの声がある。

国の新たな指導は

建設省は、建設工事標準約款を改定し、受注する際法定福利費を明示して請求すること。また公共工事については、社会保険未加入の建設業者と下請け契約の相手としない、含まれているときは違約金を支払う、との新たな締め付けをおこなっています。

「信城」さん「満席になったのは久しぶり」と夜

来年四月から行われる「国民健康保険の都道府県化」について、課題と対策を考える集会在、八月二四日に新潟テルサで開催されました。

講演は日本共産党中央委員会の谷本諭さん。国は「給付に見合った保険料」を狙い、医療費の削減につなげることや一般財源からの繰入をやめさせようとしていること。また、国保は低所得者と高齢者が多いことにも触れ、「医療保険



が必要な人ほど保険負担が高いのは異常。この改善は国がやらなければならない」などの話がありました。

新潟県では未だ来年度の試算が出ていませんが、資産が出た県では最大で二、六倍もの保険料となっています。この一二月には県への納付金が確定し、それを基に保険料が算出されてしまいます。私たちの声を届けるためにも、その前に県と市に資産内容を公表させて、保険料が上がらないように声を上げていきましょう。

♪野本議員と語る会♪ しもまち支部

8月25日(金) 会員さんのお店「酒処信城」で集まりを開き、14名が参加しました。

野本議員から「中央区役所がNEXT21(2~5階)に移転。32年度には大和跡地再開発ビル(3~6階)に本庁機能の一部を移転オープン(予定)」について詳しく語っていただきました。「分館・白山浦庁舎の耐震化・老朽化対策とまちなかの活性化を謳っているが、莫大なお金をかけている」「無料で利用しやすい広い駐車場がなければ、人は集まらないのではないか」等、地域活性化の話は尽きませんでした。



新入会員の方が初参加。プラントで電気工事をしていて、社会保険加入のきびしさを語っていました。片桐支部長の治療を何度か受けたことがあり、腰の調子も良くなったそうです。読者の方も「民商の近況を知りたい」と参加。退院したばかりの役員さんも「皆に会いたい」と参加。「信城」さんも「満席になったのは久しぶり」と夜オリみたいサービス満点!!集まり最高!!?

共済会の運動「集団健診の取組み」

本年より新潟懸健康管理協会(メデイカルラボ 新光町)での集団健診が追加されました。

例年では木戸病院健診センター(東区)のみで開催だったため、東区、江南区、北区の会員は健診を受けやすいが西区から出向くのはチョットという会員さんもおられたことと思います。

新潟懸健康管理協会(メデイカルラボ)の予約は現時点で13名とまだまだ宣伝不足な点は否めません。そこで会員の皆様にお願ひですが、周辺の会員



(同じ班の会員など)で、しばらく健康診断を受けていないかたがいたら受診を勧めて欲しいのです。自営業者は自分が健康診断で仕事をしないとそのまま生活費に影響してくることもあると思いますが健康第一です。病気も早期に発見できれば治療期間も短くて済みます。健康で元気に商売を続けて行きましょう。



劇映画「母」上映チケット販売

原作は、三浦綾子さんの小説「母」です。三浦さんは、クリスチャンであり無残に殺されたイエスと嘆き悲しむマリヤの絵を見たとき「獄死した小林多喜二を想像した」と語っています。多くのみなさんが鑑賞して下さい。

上映日時 9月15日(金)

第1回 午前10時~12時 前売券 1,200円
 第2回 午後2時~4時 当日券 1,500円
 第3回 午後6時~8時 中・高生 800円

会場 新潟ユニゾンプラザ・多目的ホール
 主催 「母」上映新潟市実行委員会